

グループホームいこいの森福井町

自己評価・運営推進会議を活用した評価結果および目標達成計画

開催場所：高知市福井町 1432-1

開催日時：令和4年6月30日（木曜日）午後2時～午後3時

出席委員：会社の代表【代表取締役（森 裕）】、施設の代表【統括管理者（下司 浩）】、ご家族代表、地域の代表【福井町町内会長】

服薬管理者【アトム薬局（薬剤師）】、行政の代表【高知市地域包括支援センター 旭街地域包括支援センター職員】 計 6名

欠席委員：なし

目標達成計画作成日：令和4年7月12日

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	理念を職員の目に触れる場所に掲示し、利用者や家族にも分かるようにフロアにも掲示している。利用者との日々の関わりの中で理念に基づいたケアが行えているか職員で確認し合い、迷ったときには理念に立ち返るようにしている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ前は敬老会、保育園、地域のお祭やイベントに参加していた。日常的には買い物、散歩など外出時に地域の住民と交流を行っていたが、コロナ禍の為、ほぼ全て中止。	コロナ禍の為に人や地域とのつながりが断たれていると感じる。新型コロナウイルスの感染状況を鑑みながらできる限り以前のように地域との繋がりが持てるよう運営を行って欲しい。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議も事業所での開催については、コロナ禍の為、中止を余儀なくされ、その場合はスタッフでの開催を行い、内容についてはWEBサイトで閲覧できるようにしている。	運営推進会議の内容はWEBサイトで確認できるが、新型コロナウイルスの感染状況を鑑みながら、事業所での開催を基本として欲しい。開催の目安を高知市の感染者数が開催予定日の前週の1日感染者平均数が100名以下で開催することを報告。		
4	市町村との連携	市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ前は市主催の研修会に参加し、積極的に意見を述べていたと思うが、コロナ禍の為、実質的な交流はあまりできていない。今年は以前のように自立ケア研修に参加する予定。	高知市主催の介護カフェの参加や西部地区のグループホーム連絡協議会への参加等で積極的に実情を報告していたが、当該項目においてもコロナ禍の為に開催そのものが無くなったり、WEB会議に変更されたりとしたことにより、協力関係を構築するような機会を持てることが出来ていない。当該項目においても新型コロナウイルス感染状況を鑑みながら協力関係を構築できるよう運営を行って欲しい。		

5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	原則として身体拘束を行わないケアを全職員が取り組んでいる。概ね2ヶ月に一度の運営推進会議においても委員会を開催しカンファレンスや日々の申し送りのなかで、ケアの確認、振り返りを行っている。安全面に配慮し、身体拘束をしないケアをしている。研修会等も積極的に参加し、ホーム内でも委員を決めて研修をしている。年1回全体会で研修している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	玄関に身体拘束廃止の宣言を掲示する等、全体への周知も概ねできている。身体拘束廃止の委員会も介護保険法に定められた3ヶ月に一度の開催ペースを上回る2ヶ月に一度のペースで開催されている。また実際に身体拘束を行っていないことからほぼ出来ているの評価とされた。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	高齢者虐待についても身体拘束廃止と同様に年1回の研修を行いその一歩手前である「不適切なケア」を理解し防止することを基本としている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グレーゾーンと考えられる「不適切なケア」をなくすことで高齢者虐待を防止するという基本的な考え方をもっており、研修についても適切に実施されていることから、ほぼ出来ていると評価した。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	以前に成年後見制度を利用していた入居者様がおられたので、制度について理解がある。必要であれば活用できる支援体制を取る。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時は代表取締役・管理者・が同席し、契約書および需要事項説明書に沿って説明をしている。その場で不安や疑問を尋ね、応えている。介護報酬改定があれば、その都度説明をして、理解、納得を頂いている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	イベント時やご家族訪問時に話し合う機会を持ち、意見要望を聞いていたが、コロナ禍の為、面会制限を設けた結果、意見を交換する機会が減少した結果、意見を十分に反映できていない。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為にご家族等がグループホームに足を運ぶ機会が減少しているようなので、意見等が十分に伝えられていないようで「あまりできていない」との評価とされた。実際に面会の機会が減少していても電子メールやWEBサイトでの意見や要望が発信できる等 ICT を活用することを期待する。

10	運営に関する職員 意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員 の意見や提案を聞く機会を設け、反映さ せている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者は運営施設の増加やコロ ナ対応等により、以前と比較して 職員と関わる時間が減少し、意見 を聞く機会も減少した。管理者は カンファレンス時に意見を職員か ら意見を聞く機会を設けている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や 実績、勤務状況を把握し、給与水準、労 働時間、やりがいなど、各自が向上心 を持って働けるよう職場環境・条件の整備 に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者は職員の個々の努力や変 化を見極める程、状況を把握でき ていない。給与水準も大きく変え ることができていない。やりがい や向上心を持てる機会を与えてい るとはいえない。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者は職員と意見を交わす機会を 設けて、できる限り個々の能力や不 安ややりがい等、どのような気持ち で仕事に取り組んでいるのかを把握 するよう努めてほしい。現在は出来 ていないようなので「ほとんどでき ていない」と評価した。
12	職員を育てる取り 組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケ アの実際と力量を把握し、法人内外の研 修を受ける機会の確保や、働きながらト レーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者はどのような研修が必要 かを管理者に一任している為、実 際の職員の個々の力量を把握して いない。管理者が必要な研修につ いては必ず受けられるようしてい る。法人内の研修についても十分 とはいえないが、個々が希望する のであれば必ず受けられるように している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者は個々の職員の力量等の把 握を管理者に任せっきりになってい るようで、どのような研修がその職 員に必要なのかを把握しているとは いえない。個々の希望する研修につ いては受講を妨げてはいないが、今 後は管理者と共に職員の力量を把握 するよう運営を行うことを期待す る。
13	同業者との交流を 通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交 流する機会を作り、ネットワークづくりや 勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サ ービスの質を向上させていく取り組みをし ている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	他事業所との交流も以前は行っ ていたが、コロナ禍の為に交流の 機会が減少している。以前は西部 地区のグループホーム連絡協議会 も開催され情報交換も定期的に実 施されていたが、職員の参加はな く代表者が参加。その内容を管理 者に伝達することで、サービスの 質の向上が図れたことはある。			
14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場に おかず、暮らしを共にする者同士の関係 を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家事全般についての自立支援を 目標に、それぞれができることを してもらい、職員と一緒にを行うこ とで、共に支え合う関係づくりに 努めている。不安や落ち着かない ようなことがあれば、一緒に過ご			

				す時間をつくり、じっくりと話しを聞くようにしている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍の為、面会が制限されていることから、十分にできていない。現在、ZOOMによるリモート面談を行い関係が保たれるような機会を設けているが、一部のITリテラシーの高い方みの利用となっており、全体的な波及とまでは至っていない。	当該項目においてもコロナ禍の為制限がなされている。ICTの活用等のできる限り、馴染みの関係が保てるよう運営を行って欲しい。		

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者との日々の関わりの中で、言動や表情から思いや意向の把握に努め、意思表示が困難な利用者には、本人にとって一番良いと思われることを職員間で話し合い、家族の意向も確認しながら支援している。本人の笑顔が見られるケアに努めている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	家族への電話連絡時や面会時に意見、要望を聞き、本人からは日々のかかわりの中で思いや意向を聞くようにしており、利用者毎に担当職員を決めてどのような支援を必要としているのか、現状の評価、アセスメントを行って、スタッフ会で意見交換し、介護計画に反映させている。	介護計画は生活機能向上連携体制加算の算定しているなど、通常の介護計画より一歩踏み込んで協力医療機関の医師の意見を踏まえての介護計画が立案されている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	介護計画はカンファレンスでの話し合いが反映されており、現状に即した介護計画がほぼ立案されているという評価。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個別に日々の暮らしやケアの実践、気づきを記入している。職員間で情報を共有し日々のケアや介護計画の見直しに役立てている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	介護記録への記載、業務日誌への記載等で行えている。また勤務者の交代時等の引き付きも細かく出来ているようではほぼ出来ているとの評価

19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <input checked="" type="radio"/> あまりできていない D. ほとんどできていない	買い物を中心に入居者様の個々のニーズを満たすよう努めているが、既存のサービスに捉われない柔軟な支援を行えているとはいえない。コロナ禍の為、入居者様とご家族の「会いたい」というニーズを満たすために ZOOM によるリモート面談は導入した。	既存のサービスにとられない支援やサービスという文言が具体的に何を指すのか、今一つ良く理解できないが、コロナ禍で面会制限を発しているなか少しでも入居者のご家族が繋がれるように ZOOM によるリモート面談サービスが導入されている。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. <input checked="" type="radio"/> ほとんどできていない	コロナ禍の為に地域のボランティアの出入も制限した。かつ地域の保育園への訪問等のイベントも中止。月一度の外出支援も従来のように提供できていない。	当該項目においてもコロナ禍の為に制限がなされている内容。感染に対する恐怖心は十分に理解できるが、感染状況を鑑みてできる支援を行って欲しい。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人、家族の希望するかかりつけ医が受診できるよう支援している。協力医への受診介助は管理者が行い、その他の医療機関には家族に同行してもらっている。その際には、必要な近況報告を文書で行うとともに、必要に応じて管理者が同行している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時は1ヶ月間しか猶予期間がない契約になっており、十分な治療期間を設けているとはいえないが、介護保険制度において入院時の保障のような制度はなく、健全な事業運営を考えるとやむを得ないとする。入院時は職員が同行し本人の支援方法に関する情報を提供。病院相談員から、回復状況等の情報を頂き、退院に向けたカンファレンスに参加し、早期退院ができるようしている。		A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療機関も1ヶ月間で退院を促される動きが多く見られるので、猶予期間については健全な事業運営という視点からやむを得ないのではないか、早期退院については協力医療機関と連携を図り、退院カンファレンスに参加する等、ほぼ出来ているという評価を行った。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化・終末期に向けた方針は、重度化対応指針によりご家族および職員全員に周知している。指針はWEBサイトでも閲覧可能である。本人家族の意向をもと		A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化対応指針を契約時にご家族に渡すまたはWEBサイトにファイルをアップロードする等で周知を行っている。実際に看取りを行った事例はないようだが、協力医療機関との

				に、協力医医療機関や訪問看護ステーションから支援を受け、重度化・終末期のチーム支援ができる体制を構築している。			連携等は構築されており、実際に主治医がホームで看取りを行うという指示があっても十分対応できると判断した。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	緊急時対応マニュアルがあり、全職員が理解している。AEDを玄関前に設置しその使用方法についてレクチャーを受けた。但し定期的な訓練は行っていない為、今後は定期的訓練を実施する。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	火災、地震、風水害に対する防災対策マニュアルを整備しており、全職員が理解している。年2回の火災訓練を実施しているが、コロナ禍の為、地域との協力体制を築くことが課題となっている。	年2回の火災訓練、水害訓練、日中の災害および夜間の災害の訓練が行えている。地域との連携が課題であり、町内会の災害訓練に参加する、または災害訓練時に町内会からの参加をお願いする等で地域連携を図ってほしい。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	当該地域は津波の浸水予定もなく、話し合った内容と同様でありほぼ出来ていると評価。地域の防災訓練への参加を検討していたが、中止となった経緯があり、ほぼできていないという評価とした。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々のケアの中で利用者の尊厳保持とプライバシーの確保に配慮している。言葉かけには常に注意しており、職員同士でも注意し合えるようにしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	プライバシーに配慮したケアが概ね行えている。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	おおまかな一日の流れはあるが、利用者一人ひとりの体調や生活のペースを大切にして、決して無理強いはしないようにしている。起床、就寝時間は基本的に本人に任せており、希望に沿った暮らしを支援している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	旬の食材を使った料理を提供しているが、希望があれば柔軟に対応している。食事の準備を手伝ってもらい、職員も同じテーブルで食事を楽しんでいる。食器の片づけ等、利用者個々の能力に合わせて、できることをしてもらっている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事は職員が調理をしており、一緒に食事をしている。入居者ができることはしてもらうというケアの基本も実践されており十分にできているという評価とした。

29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事、水分の摂取状況をチェック表に記録している。個々の好みや習慣等もあり、その人に合わせて対応をしている。利用者個々の体調把握に努め、体調や状態に合わせた栄養、水分摂取量の確保を支援している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は口腔ケアの重要性を認識しており、毎食後利用者個々の状態に合ったケアをしている。必要な利用者には、訪問歯科診療で適切な治療を受けてもらっている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症と口腔ケアとの関連も理解されており日々の口腔ケアも受蓄されているが、定期的な歯科の訪問が無いため、客観的な専門的な有識者のアドバイス等がされていないので、ほぼ出来ていると評価した。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者個々の排泄状況を把握しており、トイレでの自力排泄ができるように支援している。自尊心に配慮した声掛け誘導や、パット交換、下着回収を行っており、常に支援内容を検討して、個々の状態の変化に対応している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄状態の把握、自力での排泄ができるよう支援されており、プライバシーにも配慮されおり、ほぼ出来ているとの評価。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の希望に沿った入浴ができるよう努めている。入浴を拒否する利用者は、時間をずらして声をかけたり、他の職員が対応するなど工夫をしている。入浴チェック表で管理し、本人の体調に合わせた入浴ができている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者一人ひとりの状態を把握し、日中の活動量を増やすなどして生活のリズムを整え、夜間の安眠につなげている。状況や希望に沿って、日中にも休息をとってもらっている。就寝前に本を読む習慣がある利用者には、継続できるように支援している。			

34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者一人ひとりの服薬内容を把握し、服薬支援をしている。症状の変化等があれば、看護師や医師に相談して指示を受けている。服薬変更があれば申し送りノートに記載し、職員に周知徹底して、その後の変化がないかを観察をするようにしている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	服薬管理については協力薬局と連研が充分に取れている、また訪問して下さる協力薬局の薬剤師から薬の情報等を得ることができている。また最近では誤薬事故も発生していないことから充分にできていると評価した。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者個々の得意分野を把握しており、食材の下ごしらえ、洋服のボタン付け、編み物等、一人ひとりに合った役割や楽しみを支援するようにしている。誕生日会などの行事では、豪華な食事を楽しんでもらうことで気分転換を図っている。			
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍の為、外出支援も中止。日常的な散歩や買物同行も十分に行えていないが、感染状況が一時的に落ち着いているときは季節な花などを車中から見学した。	当該項目においてもコロナ禍の為に十分にできていない。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍の為、買物同行も自粛している為、支援できていない。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	家族や友人、知人からの電話を取り次いだり、本人からの希望があれば家族に電話することもあり、本人の意向に沿った支援を行っている			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	共用空間は、台所・食堂・ソファと一体化しており、食事作りの音・匂い等生活感が溢れている。季節の花をテーブル等に活け、季節感を取り入れる工夫をしている。職員間の私語をつつしみ不快にならないよう気をつけている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	施設のハード面については機能的であり、職員が入居者に目を配りやすいレイアウトとなっており、ほぼ出来ていると評価した。

		人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている					
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の意向に沿った支援ができるように職員全体で把握。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時にケアマネジャーやご家族、その他の関係者から得た情報を基にケアプランを作成。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日のバイタルチェック、食事および水分量を確認リストに記載。排泄状態の把握を行い情報を申し送り、情報の共有を図っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護記録および業務日誌等で全員のバイタルチェックの記録がなされており、ほぼ出来ていると評価。	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一日の基本的なタイムスケジュールはあるが、お一人お一人のペースを大切にし尊重をもって自分の思いで生活ができるよう支援。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に以前にご本人様が大切にしていた物や日常的に使用していた物を自由に持ってきて下さるようお伝えしている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時に馴染みの物を何でも持ち込んで良いことを説明するなど、十分にできていると評価した。	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	散歩に行きたい等の訴えがある時は職員と一緒に近隣を散歩している。催し事についてはコロナ禍の為に一部制限している。	当該項目においてもコロナ禍の為に一部制限がなされている。近隣の散歩については感染リスクがほぼ無いので職員と一緒にいる。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	状況に応じて洗濯干しや洗濯物のたたみ、調理の下ごしらえ、レクリエーションへの参加をここにに応じて支援している。			

47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご入居者様同士の会話、職員との会話が行える場を設け、得意な活動を把握して笑顔で気持ちよく生き生きとした生活が行えるよう支援している。	/	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の一人ひとりの出来ること、得意なこと、出来ないこと、嫌なこと、好きなことをほぼ把握している。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々に関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない	以前は近隣の高齢者施設のイベントに参加したりし交流を行っていたが、コロナ禍の為、ほとんど行っていない。	/	/	/
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホームに居ることで安全安心の生活が送れている。ご入居者様同士、職員も家族のような関係が構築できており、より良い日々を送ることができている。	全体的に家庭的な雰囲気の中で、プライベートに配慮され、ケアが行えている。	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	話し合った内容と同様であるが、コロナ禍の為に地域との連携が断たれている為、ほぼ出来ていると評価した。

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	理念を職員の目に触れる場所に掲示し、利用者や家族にも分かるようにフロアにも掲示している。利用者との日々の関わりの中で理念に基づいたケアが行えているか職員で確認し合い、迷ったときには理念に立ち返るようにしている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ前は敬老会、保育園、地域のお祭やイベントに参加していた。日常的には買い物、散歩など外出時に地域の住民と交流を行っていたが、コロナ禍の為、ほぼ全て中止。	コロナ禍の為に人や地域とのつながりが断たれていると感じる。新型コロナウイルスの感染状況を鑑みながらできる限り以前のように地域との繋がりが持てるよう運営を行って欲しい。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議も事業所での開催については、コロナ禍の為、中止を余儀なくされ、その場合はスタッフでの開催を行い、内容についてはWEBサイトで閲覧できるようにしている。	運営推進会議の内容はWEBサイトで確認できるが、新型コロナウイルスの感染状況を鑑みながら、事業所での開催を基本として欲しい。開催の目安を高知市の感染者数が開催予定日の前週の1日感染者平均数が100名以下で開催することを報告。		
4	市町村との連携	市町村担当者とは頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ前は市主催の研修会に参加し、積極的に意見を述べていたと思うが、コロナ禍の為、実質的な交流はあまりできていない。今年は以前のように自立ケア研修に参加する予定。	高知市主催の介護カフェの参加や西部地区のグループホーム連絡協議会への参加等で積極的に実情を報告していたが、当該項目においてもコロナ禍の為に開催そのものが無くなったり、WEB会議に変更されたりとしたことにより、協力関係を構築するような機会を持てることが出来ていない。当該項目においても新型コロナウイルス感染状況を鑑みながら協力関係を構築できるよう運営を行って欲しい。		

5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	原則として身体拘束を行わないケアを全職員が取り組んでいる。概ね2ヶ月に一度の運営推進会議においても委員会を開催しカンファレンスや日々の申し送りのなかで、ケアの確認、振り返りを行っている。安全面に配慮し、身体拘束をしないケアをしている。研修会等も積極的に参加し、ホーム内でも委員を決めて研修をしている。年1回全体会で研修している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	玄関に身体拘束廃止の宣言を掲示する等、全体への周知も概ねできている。身体拘束廃止の委員会も介護保険法に定められた3ヶ月に一度の開催ペースを上回る2ヶ月に一度のペースで開催されている。また実際に身体拘束を行っていないことからほぼ出来ているの評価とされた。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	高齢者虐待についても身体拘束廃止と同様に年1回の研修を行いその一歩手前である「不適切なケア」を理解し防止することを基本としている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グレーゾーンと考えられる「不適切なケア」をなくすことで高齢者虐待を防止するという基本的な考え方をもっており、研修についても適切に実施されていることから、ほぼ出来ていると評価した。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	以前に成年後見制度を利用していた入居者様がおられたので、制度について理解がある。必要であれば活用できる支援体制を取る。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時は代表取締役・管理者・が同席し、契約書および需要事項説明書に沿って説明をしている。その場で不安や疑問を尋ね、応えている。介護報酬改定があれば、その都度説明をして、理解、納得を頂いている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	イベント時やご家族訪問時に話し合う機会を持ち、意見要望を聞いていたが、コロナ禍の為、面会制限を設けた結果、意見を交換する機会が減少した結果、意見を十分に反映できていない。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為にご家族等がグループホームに足を運ぶ機会が減少しているようなので、意見等が十分に伝えられていないようで「あまりできていない」との評価とされた。実際に面会の機会が減少していても電子メールやWEBサイトでの意見や要望が発信できる等 ICT を活用することを期待する。

10	運営に関する職員 意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員 の意見や提案を聞く機会を設け、反映さ せている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者は運営施設の増加やコロ ナ対応等により、以前と比較して 職員と関わる時間が減少し、意見 を聞く機会も減少した。管理者は カンファレンス時に意見を職員か ら意見を聞く機会を設けている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や 実績、勤務状況を把握し、給与水準、労 働時間、やりがいなど、各自が向上心 を持って働けるよう職場環境・条件の整備 に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ④ほとんどできていない	代表者は職員の個々の努力や変 化を見極める程、状況を把握でき ていない。給与水準も大きく変え ることができていない。やりがい や向上心を持てる機会を与えてい るとはいえない。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ④ほとんどできていない	代表者は職員と意見を交わす機会を 設けて、できる限り個々の能力や不 安ややりがい等、どのような気持ち で仕事に取り組んでいるのかを把握 するよう努めてほしい。現在は出来 ていないようなので「ほとんどでき ていない」と評価した。
12	職員を育てる取り 組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケ アの実際と力量を把握し、法人内外の研 修を受ける機会の確保や、働きながらト レーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ④ほとんどできていない	代表者はどのような研修が必要 かを管理者に一任している為、実 際の職員の個々の力量を把握して いない。管理者が必要な研修につ いては必ず受けられるようしてい る。法人内の研修についても十分 とはいえないが、個々が希望する のであれば必ず受けられるように している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ④ほとんどできていない	代表者は個々の職員の力量等の把 握を管理者に任せっきりになってい るようで、どのような研修がその職 員に必要なのかを把握しているとは いえない。個々の希望する研修につ いては受講を妨げてはいないが、今 後は管理者と共に職員の力量を把握 するよう運営を行うことを期待す る。
13	同業者との交流を 通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交 流する機会を作り、ネットワークづくりや 勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サ ービスの質を向上させていく取り組みをし ている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ④ほとんどできていない	他事業所との交流も以前は行っ ていたが、コロナ禍の為に交流の 機会が減少している。以前は西部 地区のグループホーム連絡協議会 も開催され情報交換も定期的に実 施されていたが、職員の参加はな く代表者が参加。その内容を管理 者に伝達することで、サービスの 質の向上が図れたことはある。			
14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場に おかず、暮らしを共にする者同士の関係 を築いている	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. ③あまりできていない D. ④ほとんどできていない	家事全般についての自立支援を 目標に、それぞれができることを してもらい、職員と一緒にを行うこ とで、共に支え合う関係づくりに 努めている。不安や落ち着かない ようなことがあれば、一緒に過ご			

				す時間をつくり、じっくりと話しを聞くようにしている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍の為、面会が制限されていることから、十分にできていない。現在、ZOOMによるリモート面談を行い関係が保たれるような機会を設けているが、一部のITリテラシーの高い方みの利用となっており、全体的な波及とまでは至っていない。	当該項目においてもコロナ禍の為制限がなされている。ICTの活用等のできる限り、馴染みの関係が保てるよう運営を行って欲しい。		
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者との日々の関わりの中で、言動や表情から思いや意向の把握に努め、意思表示が困難な利用者には、本人にとって一番良いと思われることを職員間で話し合い、家族の意向も確認しながら支援している。本人の笑顔が見られるケアに努めている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	家族への電話連絡時や面会時に意見、要望を聞き、本人からは日々のかかわりの中で思いや意向を聞くようにしており、利用者毎に担当職員を決めてどのような支援を必要としているのか、現状の評価、アセスメントを行って、スタッフ会で意見交換し、介護計画に反映させている。	介護計画は生活機能向上連携体制加算の算定しているなど、通常の介護計画より一歩踏み込んで協力医療機関の医師の意見を踏まえての介護計画が立案されている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	介護計画はカンファレンスでの話し合いが反映されており、現状に即した介護計画がほぼ立案されているという評価。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個別に日々の暮らしやケアの実践、気づきを記入している。職員間で情報を共有し日々のケアや介護計画の見直しに役立てている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	介護記録への記載、業務日誌への記載等で行えている。また勤務者の交代時等の引き付きも細かく出来ているようでほぼ出来ているとの評価

19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <input checked="" type="radio"/> あまりできていない D. ほとんどできていない	買い物を中心に入居者様の個々のニーズを満たすよう努めているが、既存のサービスに捉われない柔軟な支援を行えているとはいえない。コロナ禍の為、入居者様とご家族の「会いたい」というニーズを満たすために ZOOM によるリモート面談は導入した。	既存のサービスにとられない支援やサービスという文言が具体的に何を指すのか、今一つ良く理解できないが、コロナ禍で面会制限を発しているなか少しでも入居者のご家族が繋がれるように ZOOM によるリモート面談サービスが導入されている。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. <input checked="" type="radio"/> ほとんどできていない	コロナ禍の為に地域のボランティアの出入も制限した。かつ地域の保育園への訪問等のイベントも中止。月一度の外出支援も従来のように提供できていない。	当該項目においてもコロナ禍の為に制限がなされている内容。感染に対する恐怖心は十分に理解できるが、感染状況を鑑みてできる支援を行って欲しい。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人、家族の希望するかかりつけ医が受診できるよう支援している。協力医への受診介助は管理者が行い、その他の医療機関には家族に同行してもらっている。その際には、必要な近況報告を文書で行うとともに、必要に応じて管理者が同行している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時は1ヶ月間しか猶予期間がない契約になっており、十分な治療期間を設けているとはいえないが、介護保険制度において入院時の保障のような制度はなく、健全な事業運営を考えるとやむを得ないとする。入院時は職員が同行し本人の支援方法に関する情報を提供。病院相談員から、回復状況等の情報を頂き、退院に向けたカンファレンスに参加し、早期退院ができるようしている。		A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療機関も1ヶ月間で退院を促される動きが多く見られるので、猶予期間については健全な事業運営という視点からやむを得ないのではないか、早期退院については協力医療機関と連携を図り、退院カンファレンスに参加する等、ほぼ出来ているという評価を行った。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化・終末期に向けた方針は、重度化対応指針によりご家族および職員全員に周知している。指針はWEBサイトでも閲覧可能である。本人家族の意向をもと		A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化対応指針を契約時にご家族に渡すまたはWEBサイトにファイルをアップロードする等で周知を行っている。実際に看取りを行った事例はないようだが、協力医療機関との

				に、協力医医療機関や訪問看護ステーションから支援を受け、重度化・終末期のチーム支援ができる体制を構築している。			連携等は構築されており、実際に主治医がホームで看取りを行うという指示があっても十分対応できると判断した。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	緊急時対応マニュアルがあり、全職員が理解している。AEDを玄関前に設置しその使用方法についてレクチャーを受けた。但し定期的な訓練は行っていない為、今後は定期的訓練を実施する。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	火災、地震、風水害に対する防災対策マニュアルを整備しており、全職員が理解している。年2回の火災訓練を実施しているが、コロナ禍の為、地域との協力体制を築くことが課題となっている。	年2回の火災訓練、水害訓練、日中の災害および夜間の災害の訓練が行えている。地域との連携が課題であり、町内会の災害訓練に参加する、または災害訓練時に町内会からの参加をお願いする等で地域連携を図ってほしい。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	当該地域は津波の浸水予定もなく、話し合った内容と同様でありほぼ出来ていると評価。地域の防災訓練への参加を検討していたが、中止となった経緯があり、ほぼできていないという評価とした。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々のケアの中で利用者の尊厳保持とプライバシーの確保に配慮している。言葉かけには常に注意しており、職員同士でも注意し合えるようにしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	プライバシーに配慮したケアが概ね行えている。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	おおまかな一日の流れはあるが、利用者一人ひとりの体調や生活のペースを大切に、決して無理強いはしないようにしている。起床、就寝時間は基本的に本人に任せており、希望に沿った暮らしを支援している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	旬の食材を使った料理を提供しているが、希望があれば柔軟に対応している。食事の準備を手伝ってもらい、職員も同じテーブルで食事を楽しんでいる。食器の片づけ等、利用者個々の能力に合わせて、できることをしてもらっている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事は職員が調理をしており、一緒に食事をしている。入居者ができることはしてもらうというケアの基本も実践されており十分にできているという評価とした。

29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事、水分の摂取状況をチェック表に記録している。個々の好みや習慣等もあり、その人に合わせて対応をしている。利用者個々の体調把握に努め、体調や状態に合わせた栄養、水分摂取量の確保を支援している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は口腔ケアの重要性を認識しており、毎食後利用者個々の状態に合ったケアをしている。必要な利用者には、訪問歯科診療で適切な治療を受けてもらっている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症と口腔ケアとの関連も理解されており日々の口腔ケアも受蓄されているが、定期的な歯科の訪問が無いため、客観的な専門的な有識者のアドバイス等がされていないので、ほぼ出来ていると評価した。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者個々の排泄状況を把握しており、トイレでの自力排泄ができるように支援している。自尊心に配慮した声掛け誘導や、パット交換、下着回収を行っており、常に支援内容を検討して、個々の状態の変化に対応している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄状態の把握、自力での排泄ができるよう支援されており、プライバシーにも配慮されおり、ほぼ出来ているとの評価。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の希望に沿った入浴ができるよう努めている。入浴を拒否する利用者は、時間をずらして声をかけたり、他の職員が対応するなど工夫をしている。入浴チェック表で管理し、本人の体調に合わせた入浴ができている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者一人ひとりの状態を把握し、日中の活動量を増やすなどして生活のリズムを整え、夜間の安眠につなげている。状況や希望に沿って、日中にも休息をとってもらっている。就寝前に本を読む習慣がある利用者には、継続できるように支援している。			

34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者一人ひとりの服薬内容を把握し、服薬支援をしている。症状の変化等があれば、看護師や医師に相談して指示を受けている。服薬変更があれば申し送りノートに記載し、職員に周知徹底して、その後の変化がないかを観察をするようにしている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	服薬管理については協力薬局と連研が充分に取れている、また訪問して下さる協力薬局の薬剤師から薬の情報等を得ることができている。また最近では誤薬事故も発生していないことから充分にできていると評価した。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者個々の得意分野を把握しており、食材の下ごしらえ、洋服のボタン付け、編み物等、一人ひとりに合った役割や楽しみを支援するようにしている。誕生日会などの行事では、豪華な食事を楽しんでもらうことで気分転換を図っている。			
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍の為、外出支援も中止。日常的な散歩や買物同行も十分に行えていないが、感染状況が一時的に落ち着いているときは季節な花などを車中から見学した。	当該項目においてもコロナ禍の為に十分にできていない。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍の為、買物同行も自粛している為、支援できていない。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	家族や友人、知人からの電話を取り次いだり、本人からの希望があれば家族に電話することもあり、本人の意向に沿った支援を行っている			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	共用空間は、台所・食堂・ソファと一体化しており、食事作りの音・匂い等生活感が溢れている。季節の花をテーブル等に活け、季節感を取り入れる工夫をしている。職員間の私語をつつしみ不快にならないよう気をつけている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	施設のハード面については機能的であり、職員が入居者に目を配りやすいレイアウトとなっており、ほぼ出来ていると評価した。

		人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている					
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の意向に沿った支援ができるように職員全体で把握。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時にケアマネジャーやご家族、その他の関係者から得た情報を基にケアプランを作成。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日のバイタルチェック、食事および水分量を確認リストに記載。排泄状態の把握を行い情報を申し送り、情報の共有を図っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護記録および業務日誌等で全員のバイタルチェックの記録がなされており、ほぼ出来ていると評価。	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一日の基本的なタイムスケジュールはあるが、お一人お一人のペースを大切にし尊重をもって自分の思いで生活ができるよう支援。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に以前にご本人様が大切にしていた物や日常的に使用していた物を自由に持ってきて下さるようお伝えしている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時に馴染みの物を何でも持ち込んで良いことを説明するなど、十分にできていると評価した。	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	散歩に行きたい等の訴えがある時は職員と一緒に近隣を散歩している。催し事についてはコロナ禍の為に一部制限している。	当該項目においてもコロナ禍の為に一部制限がなされている。近隣の散歩については感染リスクがほぼ無いので職員と一緒にいる。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	状況に応じて洗濯干しや洗濯物のたたみ、調理の下ごしらえ、レクリエーションへの参加をここにに応じて支援している。			

47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご入居者様同士の会話、職員との会話が行える場を設け、得意な活動を把握して笑顔で気持ちよく生き生きとした生活が行えるよう支援している。	/	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の一人ひとりの出来ること、得意なこと、出来ないこと、嫌なこと、好きなことをほぼ把握している。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々に関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない	以前は近隣の高齢者施設のイベントに参加したりし交流を行っていたが、コロナ禍の為、ほとんど行っていない。	/	/	/
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホームに居ることで安全安心の生活が送れている。ご入居者様同士、職員も家族のような関係が構築できており、より良い日々を送ることができている。	全体的に家庭的な雰囲気の中で、プライベートに配慮され、ケアが行えている。	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	話し合った内容と同様であるが、コロナ禍の為に地域との連携が断たれている為、ほぼ出来ていると評価した。

(参考様式4)

事業所名:グループホームいこいの森福井町

目標達成計画

作成日: 令和4年7月12日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	12	代表者はどのような研修が必要かを管理者に一任している為、実際の職員の個々の力量を把握していない。管理者が必要な研修については必ず受けられるようしている。法人内の研修についても十分とはいえないが、個々が希望するのであれば必ず受けられるようにしている。	代表者は管理者と共同で個々の職員の力量を把握し、必要な研修をが充分に受講できるようにする。また必要な研修の受講に際しては職務扱いとし働きながらトレーニング出来る環境を整備する。	代表者と管理者の定期的なミーティングの実施。 代表者と個々の職員との定期的なミーティングの実施。代表者及び管理者はどのような外部の研修があるのかを情報収集し全職員に徹底周知。内部研修の計画を全職員に周知。	3ヶ月
2	11	代表者は職員の個々の努力や変化を見極める程、状況を把握できていない。給与水準も大きく変えることができていない。やりがいや向上心を持てる機会を与えているとはいえない。	代表者は職員の個々の特性等を把握するよう努め、介護保険法により定めれている算定可能な認知症共同生活介護の加算においては職員に大きな負担がかからないおいて算定を行い給与水準を上げるよう努め、やりがいや向上心を持てる機会を増やす。	代表者と個々の職員の定期的なミーティング、介護保険法の理解。	3ヶ月
3	20	コロナ禍の為に地域のボランティアの出入も制限した。かつ地域の保育園への訪問等のイベントも中止。月一度の外出支援も従来のように提供できていない。	コロナ禍でも実施できる様なイベントを開催し地域と入居者が繋がりを持てる機会を増やす。月一度の外出支援についてもコロナの感染状況を鑑みながら、感染防止対策を実行し再開する。	ICTの活用。新型コロナウイルス感染症の感染者数の把握。外出時感染予防対策の実施(車内清掃、消毒、マスクの着用、外出先の感染対策状況の把握等)	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。